

「TOKYOウオーク2018」に出展しました。

塩と暮らしを結ぶ運動推進協議会では、2018年9月15日（土）に開催されたウォーキング大会「TOKYOウオーク2018」第3回大会（江東・臨海エリア）に、昨年度に引き続きブース出展しました。その様子をご紹介します。

江東・臨海エリアがコースとなる第3回大会のスタート及びゴールが設置されたのは、江東区の東京都臨海広域防災公園。協賛各社のブースもここに設営されました。当日は、生憎の雨天でしたが、お子様連れからご高齢者まで、大勢の参加がありました。

参加者の皆様には、受付で「スタートキット」が配布されましたが、塩と暮らしを結ぶ運動推進協議会からは、熱中症対策啓発のウチワをご提供しました。

午前9時から次々に各コースのウォーキングがスタート。雨にも負けず、最長で21kmのコースを歩きます。

そして、午後0時半ごろから、次々と参加者がゴールして来られ、ゴールの手続きを済まされた皆様に、塩と暮らしを結ぶ運動のブースにお立ち寄りいただきました。



塩と暮らしを結ぶ運動のブースには、パネル等を展示して、運動や、熱中症対策における塩の大切さを訴えました。そして、完歩された皆様には、塩飴と、運動の冊子『塩と暮らしのあれこれBOOK』を配布しました。当日の気温はあまり高くありませんでしたが、長い距離を歩かれた皆様には、塩飴が好評でした。

また、ブースでは、「塩イルカ」のTシャツなどがもらえる輪投げも実施しました。Tシャツの「塩イルカ」が可愛いと大変好評で、雨天にも関わらず、大勢の方に列をつくっていただきました。

絶好のウォーキング日和とはいえない天候だったにも関わらず、イベント全体では3,794名の参加がありました。その中で、約1,800名の方に、塩飴や『塩と暮らしのあれこれBOOK』をお渡しし、熱中症対策における塩の大切さなどをお伝えすることができました。また、約400名の方に、輪投げを楽しんでいただきました。

「TOKYOウォーク2018」は、今後も開催されます。

詳しくは公式サイトをご覧ください。

<http://www.tokyo-walk.jp/>



「TOKYOウオーク2017」に出展しました。

私たち塩と暮らしを結ぶ運動推進協議会では、2017年7月8日（土）に開催されたウォーキング大会「TOKYOウオーク2017」（主催：東京都、公益財団法人東京都スポーツ文化事業団、一般社団法人日本ウォーキング協会）第2回大会（葛飾・足立エリア）にブース出展しました。
その様子を、ご紹介します。

当日は、東京都葛飾区の柴又公園に主催者や私たちを含め協賛各社のブースが設置されるなか、小さな子供連れのご家族から高齢者のご夫婦、本格的なスポーツマンや主婦の方々など、4,120名が集まりました。

参加者の皆さんには、受付で「スタートキット」が配布され、塩と暮らしを結ぶ運動推進協議会から、熱中症対策啓発用のウチワと塩飴（3個入りセット）を提供しました。

当日の東京は、晴天で33.7℃まで気温が上がり、スタート前に、さっそくウチワを活用されている方もおられました。

今回の参加コースは、Aコース：22km、Bコース：13km、Cコース：8km、子供とウォークコースのほか、名所旧跡をガイドと巡るガイドウォークコースの5つ。

午前9時から次々に各コースのウォーキングがスタートしました。



ウチワ



塩飴



ブースに掲示したポスター

午後0時ごろには、次々と参加者の皆さまがゴール。その後、私たちのブースには約3,000名の方にお立ち寄りいただきました。

ブースでは、運動のパネル等を展示して塩の大切さを訴求。炎天下の中を完歩された皆さんには、運動のリーフレットに加え、経口補水液「オーエスワン・ゼリー」や塩飴、マグネットなどを配布し、大変な好評を得ました。

今回のブース出展で、参加者に熱中症対策での塩分の関わりが十分に伝わったものと思います。

また、「これは何の運動ですか」、「どこの団体が実施しているのですか」などの質問もあり、多くの方々に塩と暮らしを結ぶ運動を発信することができました。

なお、私たちがブース出展するのは、「TOKYOウオーク2017」全5回大会のうち今回の第2回大会だけですが、運動としては、救護用物品として、「オーエスワン・ゼリー」を全大会に提供しています。



運動リーフレット、
オーエスワン・ゼリー、
マグネットのセット